



# 国のため、人のために活躍した英才 榎本 武揚

## 【指導事例 1】

1 主 題 「困難を乗り越え、物事をやり抜く」〔努力と強い意志〕

2 ねらい

困難を乗り越え、物事をやり抜いた先人の生き方に触れ、困難があってもくじけずに努力しようとする前向きな心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、新国家建設の理想のもとに、自分の能力を生かして国や人々のために活躍した榎本武揚の功績に触れることを通して、困難があってもくじけずに努力しようとする前向きな心情を育てることをねらいとしています。

前半では、江戸時代から明治時代へと社会が大きく変わる中、榎本武揚が明治政府の国づくりに反対し、自らの理想とする国づくりに奮闘した様子が示されています。

後半では、戊辰戦争で敗北し、囚われの身となりながらも才能を評価され、明治政府に協力した榎本武揚が、日本の近代化のために力を尽くすという強い信念を貫いた姿に触れています。

指導に当たっては、榎本武揚の行動を多面的・多角的に考えることを通して、目標に向かって努力しようとする前向きな姿勢について考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「社会が大きく変わる中、日本の近代化に尽力した榎本武揚の生き方を通して、立場が変わっても目標に向かって努力しようとする強い意思について考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標に向かって努力していることについて話し合う。</li> <li>○ 普段の生活で、目標に向かって頑張っていることはありますか。</li> <li>・発表会に向けてピアノの練習を毎日続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教材「国のため、人のために活躍した英才」を読み、話し合う。</li> <li>○ 明治政府から才能を評価されて牢から出されたとき、榎本武揚はどのようなことを考えたでしょうか。</li> <li>・大勢の部下のため、蝦夷地の開拓に力を注ぎたい。</li> <li>・一致団結して、日本の近代化に努めなければならない。</li> <li>○ あなたは、反対していた明治政府に協力した榎本武揚の行動をどのように考えますか。</li> <li>・死んでいった部下たちのことを考えると、協力する資格はないと思う。</li> <li>・部下の努力を無駄にしてはいけないし、協力することで納得してもらえないはず。</li> <li>◎ なぜ、榎本武揚は、反対していた明治政府に協力しようと思ったのでしょうか。</li> <li>・自分の能力を生かしたいと思ったから。</li> <li>・理想の国づくりという目標をやり遂げたかったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の児童の感じ方や捉え方を大切にする。</li> <li>・自分と違う立場や感じ方、考え方に注目するよう働きかける。</li> <li>・黒田清隆らの願いや思いに共感し、国づくりに尽力したことに気付くことができるようにする。</li> <li>・「敵側の人間の部下になる」という困難を乗り越えて志を貫いた榎本武揚の気持ちを多面的・多角的に話し合い、価値理解、他者理解を深めることができるようにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分にとって努力を続けることの大切さについて考える。</li> <li>○ これからの生活で、大変でも目標に向かって頑張りたいと思うことはありますか。</li> <li>・ピアノの練習は大変だけど、上手になれるように続けていきたい。</li> <li>・思い通りに行かない時でも、あきらめないうで努力を続けていきたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活や生き方を振り返り自己理解を深めることができるようにする。</li> <li>■ 困難を乗り越え、努力を続ける大切さについて、自分との関わりの中で考えている。</li> </ul>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師の説話を聞く。</li> <li>※立場が変わったり、困難な状況であったりしても、目標に向かって努力し続ける難しさや大切さについて教師自身の体験から話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力を大切にしていこうとする心情が育まれるようにする。</li> </ul>

## 【指導事例 2】

### 1 主 題 「国のために、人のために」〔国や郷土を愛する態度〕

### 2 ねらい

我が国の発展に尽くした先人の努力を知り、国や郷土を愛し、よりよくしていこうとする態度を養う。

### 3 展開例—②「榎本武揚の生き方を通して、国や郷土への強い思いについて考える展開」

### 4 主な学習活動

(1) 榎本武揚が明治政府とは別の「理想の国をつくるしかない」と決意したのは、なぜだと思いますか。

- ・将来の日本のことを心配したから。
- ・今は平和ではないと思ったから。
- ・新政府の国づくりに不満があったから。

(2) 榎本武揚は、降伏したにもかかわらず明治政府の一員として働いたのはなぜだと思いますか。

- ・助けてもらったから、仕方なく働いた。
- ・自分が理想とする国に近付けるために、進んで働こうと思ったから。
- ・自分にできることがあるなら、国民のためにやらなければと思ったから。

(3) 榎本武揚の「自分の能力を生かして国や人々の役に立ちたい。」という強い思いから、私たちが受け取れることは何だと思いますか。

- ・この国の発展のために尽力してほしい。
- ・自分の生まれ育った国や人を大切にしてほしい。
- ・志を高くもって生きてほしい。

#### □ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

##### ■ 国語科

読むことの学習において、伝記などを読んで人物を紹介する言語活動を行う際に本教材を活用することを通して、児童が先人の努力とその思いについて考えることができるようにする。

##### ■ 社会科

明治維新に関する学習において、江戸幕府と明治政府の国づくりに対する考えの違いについて扱う際に本教材を活用することを通して、榎本武揚が明治政府とは別の理想の国づくりをしたいという考えをもっていたことへの理解を深めることができるようにする。

##### ■ 総合的な学習の時間

地域の伝統と文化について調べる学習において、本教材を活用し、新しい国づくりに貢献した人物について考えさせることを通して、地域の伝統と文化について興味・関心を高めることができるようにする。

##### ■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えたり、家庭や地域内での児童の役割について話し合ったりしてもらうことを通して、児童の実践意欲を高めることができるようにする。